

景況調査

報告書 NO. 90

令和3年1月～3月 実績
令和3年4月～6月 見通し



蒲郡商工会議所
中小企業相談所

令和2年度第4四半期(R3.1～3月)景況調査

1. 調査時点 令和3年3月10日～3月26日

2. 調査対象

(1)対象地区 蒲郡市内
 (2)対象(回答)企業 104[97企業、7団体＝三河織物工業(協)、中部繊維ロープ工業(協)、蒲郡市上下水道工事(協)、蒲郡建設業(協)、三河繊維産元(協)、蒲郡地区旅館組合、蒲郡鉄工会]

3. 調査方法

聞き取り調査によるアンケート調査

4. 回答企業の内訳

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	運輸通信業	全業種
合計	50 (3)	9 (2)	12 (1)	15	10 (1)	8	104 (7)

※ ()は団体

5. 概況

全業種総合判断DI値(当期実績)は、前期比では△15.4、前期実績(10～12月期 △1.0)に比較すると△14.4ポイントの下降・悪化の傾向が見られ、前年同期比では、△21.9、前期実績(10～12月期 △43.5)と比較すると21.6ポイントの上昇・悪化の傾向が見られた。売上DI値は、前期比で△15.3、前期実績(10～12月期 12.1)と比較すると△27.4ポイントの下降・悪化の傾向が見られた。収益DI値は、前期比で△14.3、前期実績(10～12月期 0.9)と比較する△15.2ポイントの下降・悪化の傾向が見られた。総合判断来期(R3.4～6月)見通しは、△11.5、今期の実績(全業種(当期実績)前期比△15.4)と比較すると3.9ポイントの上昇・悪化の傾向が見られた。

「**製造業**」のうち食料品は年末の需要期を抜けて売上等は下降するも、前年同期比では上回った。繊維は新型コロナの影響による経済活動低迷で厳しい状況は続くが、前期比で収益は上昇傾向も見られた。漁網・ロープ新型コロナの影響による経済低迷で、生産、販売数量・金額ともに1割程度の減少が続く。鉄工のうち工作機械関係は全体では内需・外需ともに対前月比・前年比で続伸。当地区においてもほぼ全ての数値で上昇した。自動車関係は海外向け中心に堅調な回復傾向が続き、トヨタの国内日当たり生産は1万2千台水準で推移。化学工業は新型コロナの影響はあるが事業者の適応も進み、市況は通常化。海外市場は順調。プラスチックは製造業全体に活性化の兆しが続くが、コロナ余波で原材料調達難・運送費などのコスト負担増が見られた。

「**建設業**」は、年度末の公共工事需要期にあったが、今年度はやや伸び悩み。

「**卸売業**」のうち、繊維卸は<産業資材>車両用基布10～12月並みで堅調に推移。遅れていた他の産業資材も5～6割程度まで回復。<インテリア>1～3月は上昇下降を繰り返し一進一退の状況。<アパレル>サステナブルな素材(オーガニックコットン)、再生繊維(綿/シルク)の引き合いが増えている。

「**小売業**」は警戒レベル引下後は、一部で消費意欲の回復も見られたが、全体的には低調であった。飲食は緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令に伴う自粛要請・営業時間短縮の影響が続き、団体利用は消滅。消費意欲も沈滞しており、全ての事業所で前年同期比・前期比で売上が減少。

。石油等その他小売は原油価格(WTI期近物)は、米国寒波による操業停止や需要増もあり需給バランスの影響から値上がり基調で推移。50ドル後半～60ドル台で推移。

「**サービス業**」のうち旅館関係は、秋～年末にかけてGoToトラベルでの活況から一転、第3波の広がりに伴いキャンセル多発。例年の2割程度の宿泊者数に留まる。春休み時期は例年の4～6割程度まで回復の兆しが見えるも、未だ団体旅行の回復は見られず、コロナ対策を万全に行い、お越しいただけるお客様に感謝して営業を継続。

「**運輸通信業**」貨物輸送では完成車輸出は北米向けが増加。海上コンテナ貨物は中国向け中心に好調を維持。鋼材移入は月間1万tを割り込む状況が続く

設備投資状況は、31事業所(47件)で設備投資が実施され、生産設備他に投資された。来期は27事業所(39件)が設備投資を計画している。

経営上の問題点では売上の停滞・減少、利幅の縮小、競争激化、原材料(燃料)高、工場機械店舗の狭小・老朽化が項目別で上位を占めており、売上の停滞・減少を訴える企業が74%に到り、原材料費の高騰を訴える声も増加傾向にある。

当地区において 令和2年度第4四半期は、2期連続で続いた改善傾向が一服。前期比でやや悪化傾向の踊り場となった。業種毎では、製造業関連では内需・外需ともに回復が続く一方、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等により飲食・観光等の動きは抑制された。経営上の問題点で売上の減少を訴える声が未だ7割を占め、地方における個人消費停滞と景気の減速に加えて、大変厳しい状況となっている。

全業種(当期実績)

(DI 単位:%)

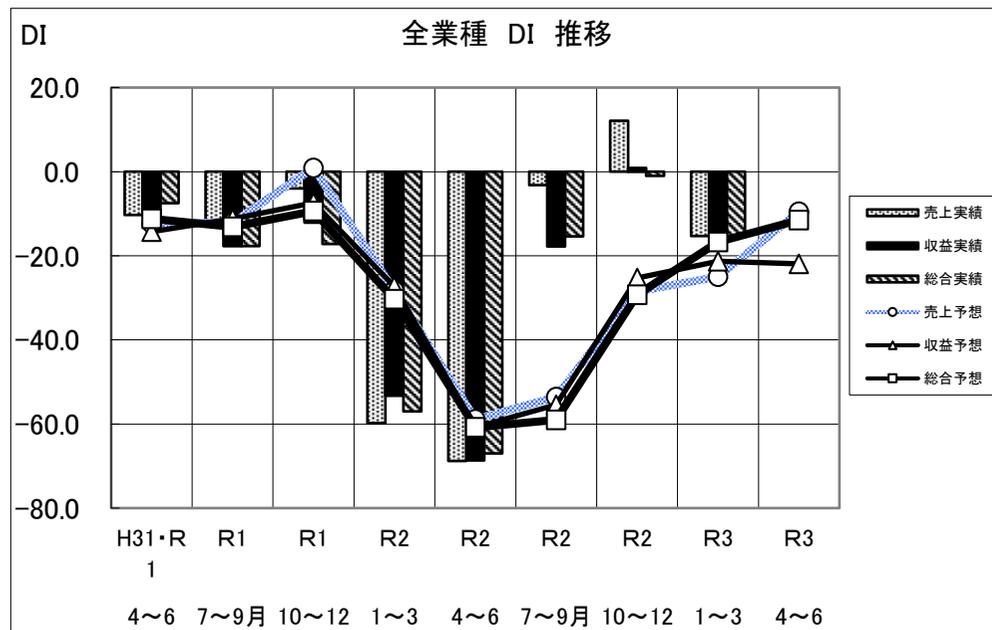
<全業種 各項目期別推移>

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し		売上		収益		総合判断		
					前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	前年同期比	前期比	来期見通し
①生産額・売上額	-30.5	-15.3	-9.5	R2.1～3月実績	-58.0	-59.8	-50.5	-53.3	-55.1	-57.0	-60.8
②製品・商品在庫	-7.6	-3.8	-9.5	R2.4～6月実績	-79.4	-68.8	-67.9	-68.7	-71.4	-67.0	-59.0
③資金繰り	-11.4	-8.5	-7.6	R2.7～9月実績	-72.4	-3.2	-60.2	-17.8	-58.6	-15.4	-29.3
④採算(収益)	-25.8	-14.3	-21.9	R2.10～12月実績	-56.5	12.1	-44.4	0.9	-43.5	-1.0	-16.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	-3.8	3.8	R3.1～3月実績	-30.5	-15.3	-25.8	-14.3	-21.9	-15.4	-11.5
⑥貴社の業況(総合判断)	-21.9	-15.4	-11.5								

[総合判断]

業種	前年同期比	前期比	見通し	業種	前年同期比	前期比	見通し
全業種				卸売業			
				(繊維卸)			
製造業				小売業			
(食料品)				(飲食)			
(織物)				(石油等その他小売)			
(漁網・ロープ)				サービス業			
(鉄工)				(旅館)			
(化学・プラスチック)				運輸通信業			
建設業				(旅客・貨物輸送・水運)			



<業況判断DIの推移>

	4~6月	7~9月	10~12月	R2.1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月見通し
売上	-10.3	-12.2	-4.0	-59.8	-68.8	-3.2	12.1	-15.3	-9.5
収益	-10.3	-17.7	-12.1	-53.3	-68.7	-17.8	0.9	-14.3	-21.9
総合	-7.5	-17.7	-17.2	-57.0	-67.0	-15.4	-1.0	-15.4	-11.5

◎DI (デフュージョン・インデックス 業況判断指数)について

DIは景気が上向きか、下向きかを表す指数である。

DI(%)=増加・良好などの割合ー減少・悪化などの割合

(注)生産額・売上額 :DI=(増加)ー(減少)

製品・商品在庫 :DI=(減少)ー(増加)

資金繰り :DI=(好転)ー(悪化)

採算(収益) :DI=(上昇)ー(下降)

従業員数 :DI=(増加)ー(減少)

業況(総合判断):DI=(好転)ー(悪化)

DIが0より大 ⇒ 景気上向き

DIが0 ⇒ 景気横ばい

DIが0より小 ⇒ 景気下向き

(総合判断のDIの目安)

DI 50%以上



DI 6~49%



DI 5~-5%



DI -6~-49%



DI -50%以下



6. 業種別報告

製造業

売上DI値は8.0、前期実績(10～12月期 16.0)に比して△ 8.0ポイントの下降、収益DI値は4.0、前期実績(10～12月期 6.0)に比して△ 2.0ポイントの下降、総合判断DI値は0.0、前期実績(10～12月期 0.0)に比して0.0ポイントの横バイとなった。

向こう3カ月の見通し 売上・総合は横バイも、収益は水面下の状況となっている。

製造業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-6.0	8.0	2.0
②製品・商品在庫	-6.0	4.0	-2.0
③資金繰り	-4.0	-2.0	2.0
④採算(収益)	-14.0	4.0	-14.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	6.0	0.0	10.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-6.0	0.0	0.0

[食料品]

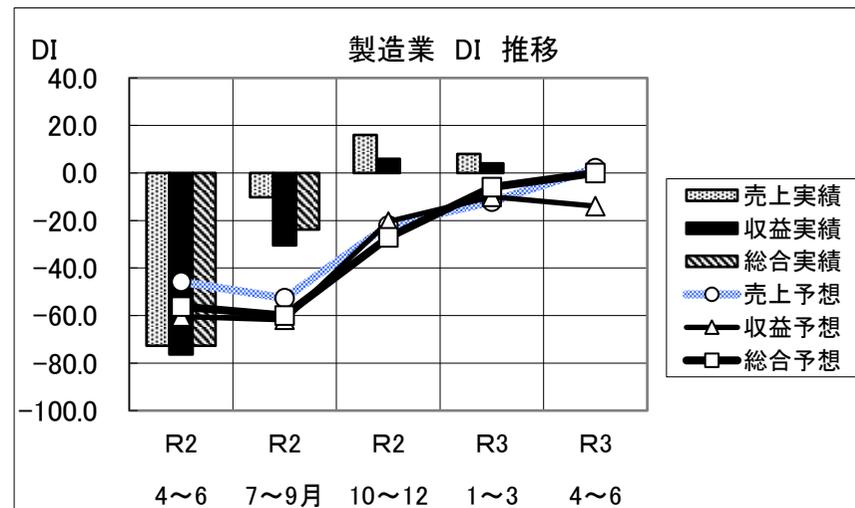
売上は前期比DI値は△50.0と下降、前年同期比ではDI値△16.7と上昇。収益では、前期比DI値で△16.5と下降、前年同期比では33.3と上昇。総合判断では前期比DI値で△16.6と下降、前年同期比はDI値33.3と上昇降。年末の需要期を抜けて売上等は下降するも、前年同期比では上回った。

向こう3ヶ月の見通し 売上・収益とも上昇傾向を示すも、総合判断は横バイの慎重な見通し。

(食料品)

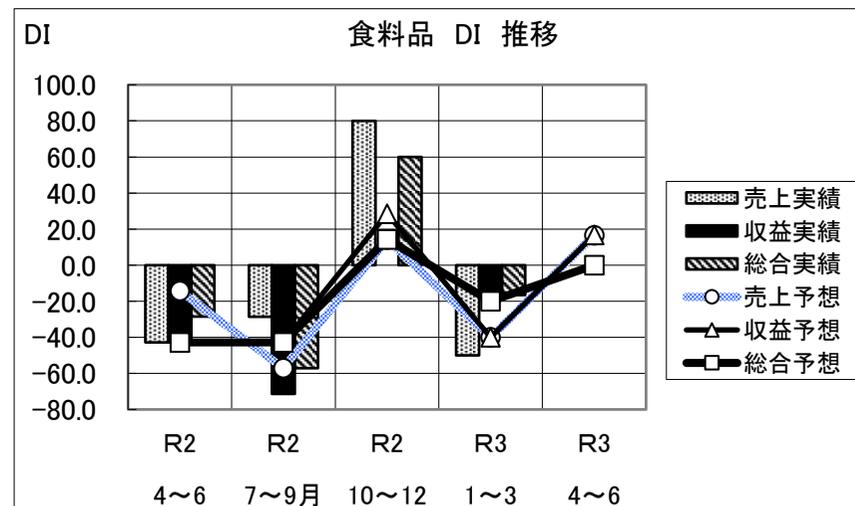
(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	16.7	-50.0	16.6
②製品・商品在庫	0.0	16.6	33.3
③資金繰り	16.6	0.0	33.3
④採算(収益)	33.3	-16.6	16.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	-33.3	16.7
⑥貴社の業況(総合判断)	33.3	-16.6	0.0



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-72.7	-10.2	16.0	8.0	2.0
収益	-76.4	-30.5	6.0	4.0	-14.0
総合	-72.7	-23.8	0.0	0.0	0.0



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-42.8	-28.6	80.0	-50.0	16.6
収益	-42.8	-71.4	0.0	-16.6	16.7
総合	-28.5	-57.1	60.0	-16.6	0.0

[織物]

新型コロナの影響による経済活動全体の低迷、低価格帯志向等で厳しい状況は続くが、前期比で収益は上昇傾向も見られた。

向こう3カ月の見通し

新型コロナの影響で今後の見通しが難しいものの、売上は上昇傾向にある見通しである。(繊維ロープ部会)

(織物)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	0.0	0.0	50.0
②製品・商品在庫	-50.0	-50.0	-50.0
③資金繰り	-50.0	50.0	0.0
④採算(収益)	-50.0	50.0	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-50.0	-50.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-50.0	50.0	0.0

[漁網・ロープ]

新型コロナウイルスの影響による経済全体の低迷を受けて、生産、販売数量・金額ともに1割程度の減少が続く。

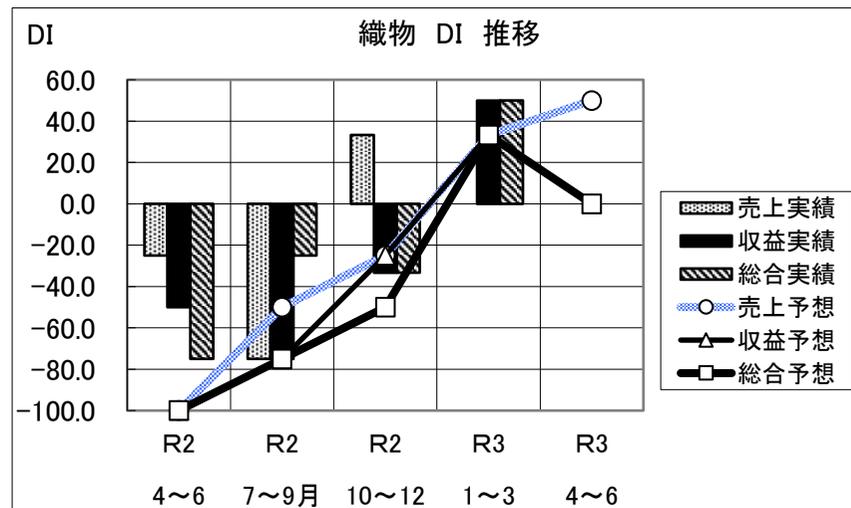
向こう3カ月の見通し

例年4～6月は漁業需要が増加する時期であるが、先行き不透明な状況。また4月より原材料の値上がりがあり、価格転嫁も難しい状況。(繊維ロープ部会)

(漁網・ロープ)

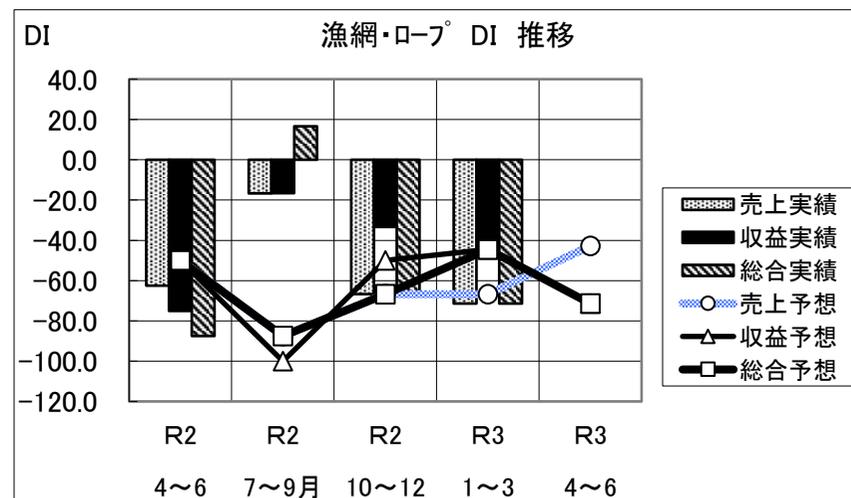
(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-71.4	-71.4	-42.8
②製品・商品在庫	-42.9	-42.9	-42.9
③資金繰り	-42.9	-42.9	-14.3
④採算(収益)	-57.1	-42.9	-71.4
⑤従業員数(含む臨時・パート)	14.3	14.3	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-71.4	-71.4	-71.4



<業況判断DIの推移>

	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月
売上	-25.0	-75.0	33.3	0.0	50.0
収益	-50.0	-75.0	-33.3	50.0	0.0
総合	-75.0	-25.0	-33.3	50.0	0.0



<業況判断DIの推移>

	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月
売上	-62.5	-16.7	-66.7	-71.4	-42.8
収益	-75.0	-16.6	-33.3	-42.9	-71.4
総合	-87.5	16.6	-66.7	-71.4	-71.4

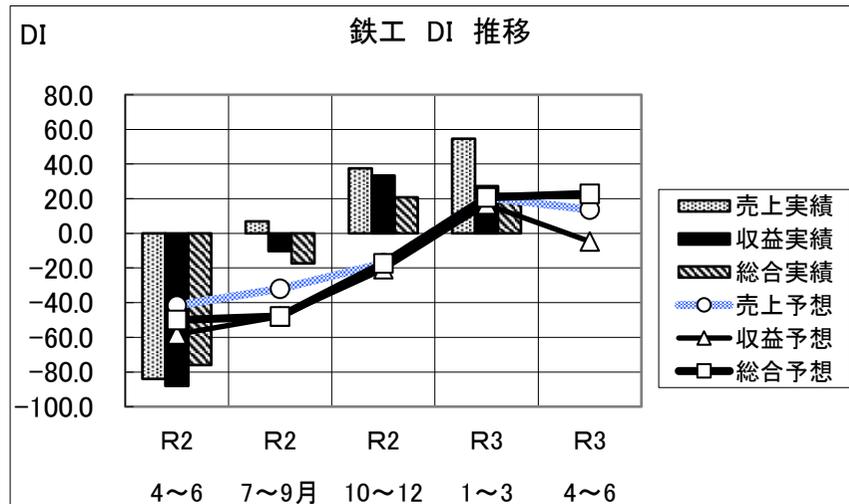
[鉄工]

＜工作機械関係＞ 日本工作機械工業会の受注総額では、1月822億円、2月1,055億円、3月1,278億円。内需・外需ともに対前月比・前年比で続伸。当地区においてもほぼ全ての数値で上昇した。向こう3カ月の見通し 経済活動の再開見通しも一部値上げ等による採算悪化を懸念する声も。

＜自動車部品関係＞ 海外向け中心に堅調な回復傾向が続き、トヨタの国内日当たり生産は1万2千台水準で推移。向こう3カ月の見通し 回復基調は続伸。トヨタの国内日当たり生産は輸出堅調で1万4千台が視野に入り上昇が続く。(金属鉄工部会)

(鉄工) (一般機械器具・輸送用機械・精密機械) (DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	18.2	54.6	13.7
②製品・商品在庫	13.6	27.3	13.6
③資金繰り	9.1	9.1	4.6
④採算(収益)	9.1	27.3	-4.6
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-9.1	0.0	22.7
⑥貴社の業況(総合判断)	9.1	22.7	22.8



＜業況判断DIの推移＞

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-84.0	6.9	37.5	54.6	13.7
収益	-88.0	-10.3	33.3	27.3	-4.6
総合	-76.0	-17.3	20.8	22.7	22.8

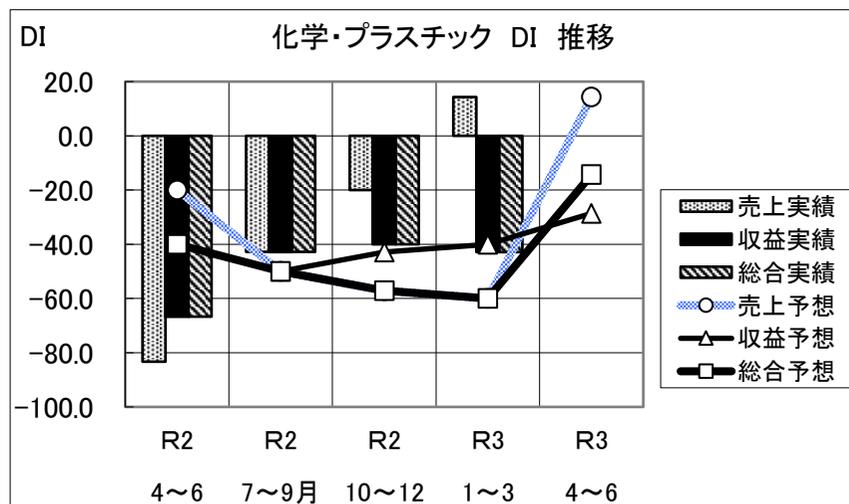
[化学・プラスチック]

＜化学工業＞ 新型コロナの影響はあるが事業者の適応も進み、市況は通常化。、海外市場は順調。向こう3カ月の見通し 不透明な状況が続くが経済活動の本格化に期待。

＜プラスチック＞ 製造業全体に活性化の兆しが続くが、コロナ余波で原材料調達難・運送費などのコスト負担増が見られた。向こう3カ月の見通し 売上は回復傾向にあるが、製品在庫や採算の悪化のを懸念が続く状況(化学部会)

(化学・プラスチック) (DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-28.6	14.3	14.3
②製品・商品在庫	-42.9	-42.9	-42.9
③資金繰り	-28.6	-28.6	-28.6
④採算(収益)	-57.1	-42.9	-28.6
⑤従業員数(含む臨時・パート)	42.8	14.3	-14.3
⑥貴社の業況(総合判断)	-28.6	-42.9	-14.3



＜業況判断DIの推移＞

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-83.3	-42.8	-20.0	14.3	14.3
収益	-66.7	-42.9	-40.0	-42.9	-28.6
総合	-66.7	-42.8	-40.0	-42.9	-14.3

建設業

売上DI値は△ 22.2、前期実績(10～12月期 △ 12.5)に比して△ 9.7ポイントの下降、収益DI値は△ 33.3、前期実績(10～12月期 △ 12.5)に比して△ 20.8ポイントの下降、総合判断DI値は△ 33.3、前期実績(10～12月期 △ 37.5)に比して4.2ポイントの上昇となった。年度末の公共工事需要期にあったが、今年度はやや伸び悩み。対前年度比・前期比でも売上・採算の悪化を訴える事が多かった。

向こう3カ月の見通し 年度末を抜けて、例年閑散期に入る時期にあるが、公共工事は国・県ともに発注は順調。民間工事では自動車関連企業等は設備投資の動きあり。

建設業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-33.3	-22.2	-22.2
②製品・商品在庫	0.0	0.0	-11.1
③資金繰り	-22.2	-22.2	-11.1
④採算(収益)	-33.3	-33.3	-33.3
⑤従業員数(含む臨時・パート)	22.2	11.1	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-33.3	-33.3	-33.3

卸売業

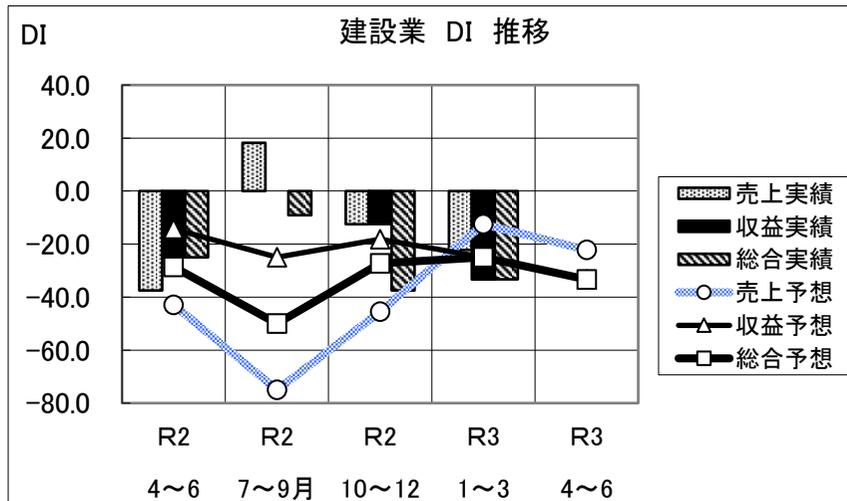
売上DI値は△ 46.1、前期実績(10～12月期 21.5)に比して△ 67.6ポイントの下降、収益DI値は△ 30.8、前期実績(10～12月期 0.0)に比して△ 30.8ポイントの下降、総合判断DI値は△ 41.7、前期実績(10～12月期 0.0)に比して△ 41.7ポイントの下降となった。年末の需要期を抜けて、売上・採算・総合ともに下降した。

向こう3カ月の見通し 春夏の需要期に入るが、消費に力強さが戻らず、売上・収益・総合ともに下降が続く見通しとなっている。

卸売業

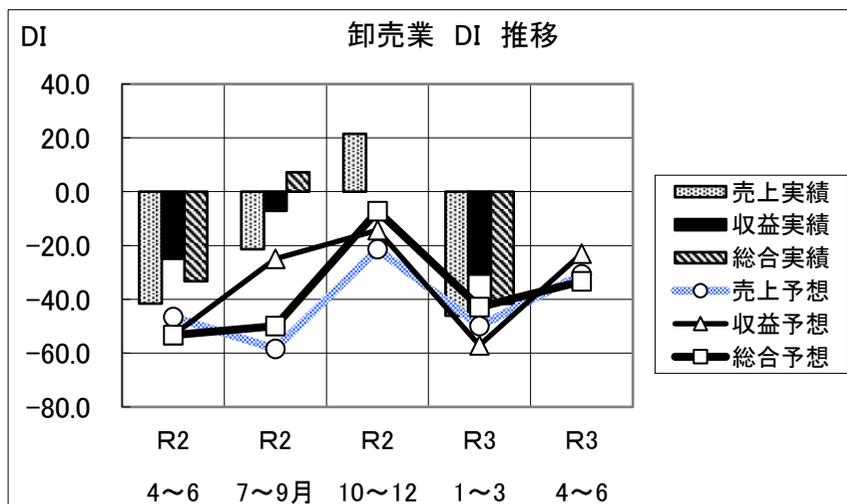
(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-61.5	-46.1	-30.7
②製品・商品在庫	0.0	-23.1	-30.8
③資金繰り	7.7	7.7	0.0
④採算(収益)	-23.1	-30.8	-23.1
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-7.7	-7.7	-7.7
⑥貴社の業況(総合判断)	-46.1	-41.7	-33.3



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-37.5	18.2	-12.5	-22.2	-22.2
収益	-25.0	0.0	-12.5	-33.3	-33.3
総合	-25.0	-9.1	-37.5	-33.3	-33.3



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-41.6	-21.4	21.5	-46.1	-30.7
収益	-25.0	-7.1	0.0	-30.8	-23.1
総合	-33.3	7.2	0.0	-41.7	-33.3

[繊維卸]

＜産業資材＞車両用基布10～12月並みで堅調に推移。遅れていた他の産業資材も5～6割程度まで回復。

向こう3カ月の見通し 車両用基布は半導体不足や米国寒波により原材料不足で生産調整。2～5割程度ダウン。他の産業資材への影響を懸念。

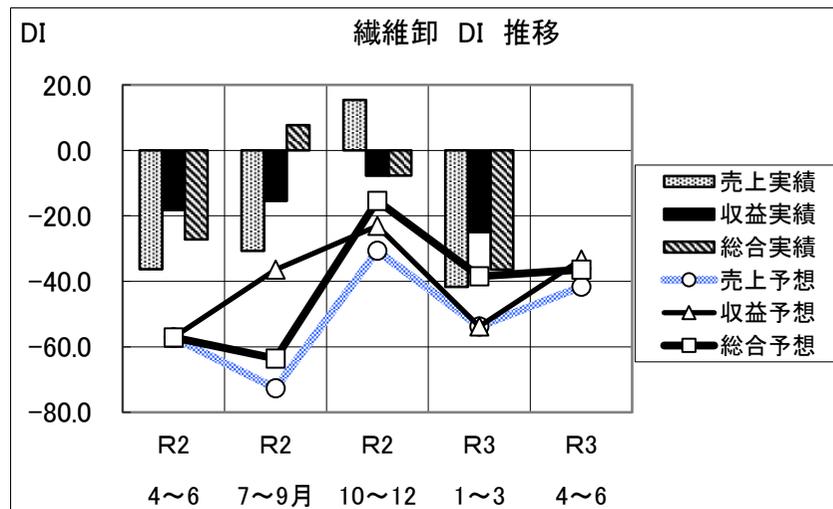
＜インテリア＞1～3月は上昇を繰り返し一進一退の状況。向こう3カ月の見通し 去年は巣ごもり需要で5月は好調であったが、今年は不透明な状況。

＜アパレル＞サステナブルな素材（オーガニックコットン）、再生繊維（綿/シルク）の引き合いが増えている。向こう3カ月の見通し マスク用の多重織ガーゼの需要が増加見込み。また、抗ウイルス加工の先染め生地にも注目。（繊維部会）

(繊維卸)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-58.4	-41.7	-41.6
②製品・商品在庫	0.0	-25.0	-33.3
③資金繰り	8.3	8.3	0.0
④採算(収益)	-16.6	-25.0	-33.4
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-8.3	-8.3	-8.3
⑥貴社の業況(総合判断)	-41.7	-36.4	-36.4



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-36.3	-30.7	15.4	-41.7	-41.6
収益	-18.2	-15.4	-7.7	-25.0	-33.4
総合	-27.2	7.7	-7.7	-36.4	-36.4

小売業

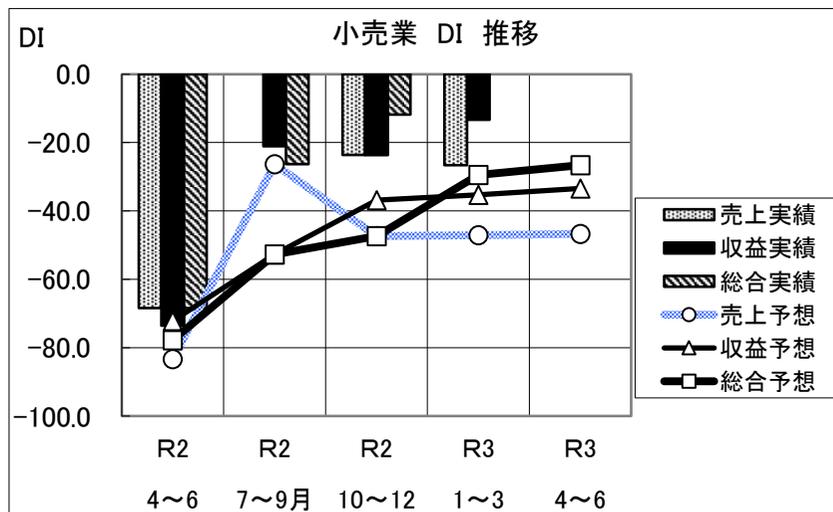
売上DI値は△ 26.6、前期実績(10～12月期 △ 23.6)に比して△ 3.0ポイントの下降、収益DI値は△ 13.3、前期実績(10～12月期 △ 23.6)に比して10.3ポイントの上昇、総合判断DI値は0.0、前期実績(10～12月期 △ 11.8)に比して11.8ポイントの上昇となった。警戒レベル引下後は、一部で消費意欲の回復も見られたが、全体的には低調であった。

向こう3カ月の見通し 消費が落ち着く時期であり、売上・採算は前年同期比・前期比でも加工。消費の質の変化に着目してニーズを捉えたい。（商業部会）

小売業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-53.4	-26.6	-46.7
②製品・商品在庫	-13.3	0.0	-6.7
③資金繰り	-13.3	0.0	-26.7
④採算(収益)	-40.0	-13.3	-33.4
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-6.6	-6.6	6.7
⑥貴社の業況(総合判断)	-20.0	0.0	-26.6



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-68.4	0.0	-23.6	-26.6	-46.7
収益	-73.6	-21.1	-23.6	-13.3	-33.4
総合	-68.4	-26.3	-11.8	0.0	-26.6

[飲食]

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令に伴う自粛要請・営業時間短縮の影響が続き、団体利用は消滅。消費意欲も沈滞しており、全ての事業所で前年同期比・前期比で売上が減少。

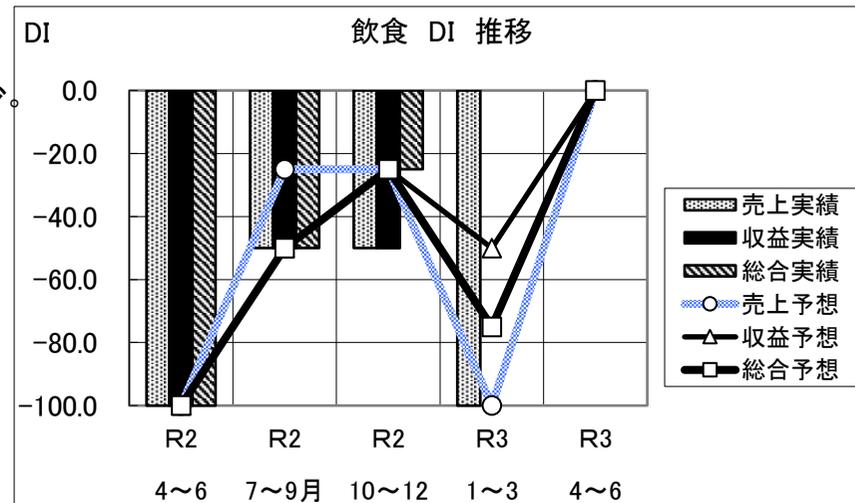
向こう3カ月の見通し

感染拡大の状況に大きく左右されるため、見通しは不透明(蒲郡市飲食業環境衛生組合連合会)

(飲食)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月~3月 に比べて	前期比 令和2年10月~12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月~6月 の見通し
①生産額・売上額	-100.0	-100.0	0.0
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	-100.0	0.0	0.0
④採算(収益)	-100.0	0.0	0.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-100.0	0.0	0.0



<業況判断DIの推移>

	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月
売上	-100.0	-50.0	-50.0	-100.0	0.0
収益	-100.0	-50.0	-50.0	0.0	0.0
総合	-100.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0

[石油等その他小売]

原油価格(WTI 期近物)は、米国寒波による操業停止や需要増もあり需給バランスの影響から値上がり基調で推移。50ドル後半~60ドル台で推移。

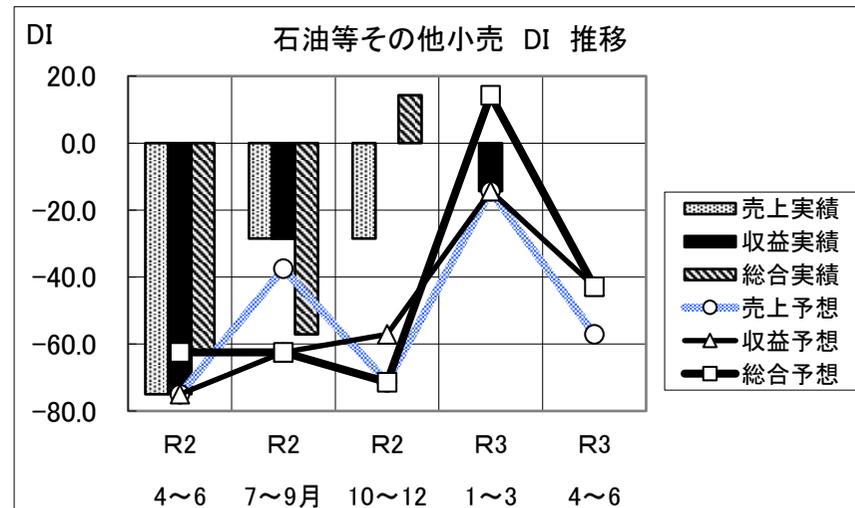
向こう3カ月の見通し

需要超過傾向のなか、60ドル台で推移。ワクチン接種の進捗に伴う経済活動の拡大により、今後も緩やかに上昇傾向が続くとみられている。(エネルギー部会)

(石油等その他小売)

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月~3月 に比べて	前期比 令和2年10月~12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月~6月 の見通し
①生産額・売上額	-71.4	0.0	-57.1
②製品・商品在庫	-14.3	14.3	-14.3
③資金繰り	-14.3	0.0	-28.6
④採算(収益)	-71.4	-14.3	-42.8
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-28.6	-14.3	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-42.9	0.0	-42.9



<業況判断DIの推移>

	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月
売上	-75.0	-28.5	-28.5	0.0	-57.1
収益	-75.0	-28.6	0.0	-14.3	-42.8
総合	-62.5	-57.1	14.3	0.0	-42.9

サービス業

売上DI値は△ 60.0、前期実績(10～12月期 33.3)に比して△ 93.3ポイントの下降、収益DI値は△ 60.0、前期実績(10～12月期 33.3)に比して△ 93.3ポイントの下降、総合判断DI値は△ 60.0、前期実績(10～12月期 44.4)に比して△ 104.4ポイントの下降となった。感染再拡大による緊急事態宣言発令もあり大きく下降した。

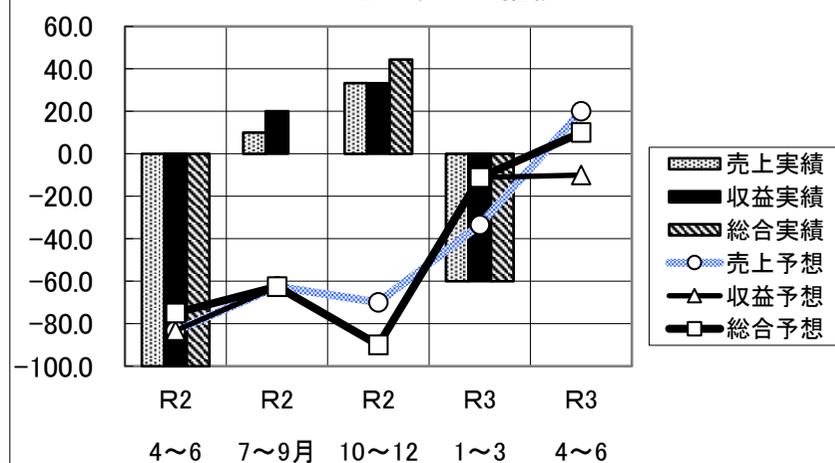
向こう3カ月の見通し 春の行楽シーズンに入り、一部でリベンジ消費の動きが見られるも、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の再発令もあり、慎重な見通しとなっている。

サービス業

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-80.0	-60.0	20.0
②製品・商品在庫	-20.0	-20.0	-20.0
③資金繰り	-60.0	-60.0	-30.0
④採算(収益)	-70.0	-60.0	-10.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-30.0	-20.0	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-60.0	-60.0	10.0

サービス業 DI 推移



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-100.0	10.0	33.3	-60.0	20.0
収益	-100.0	20.0	33.3	-60.0	-10.0
総合	-100.0	0.0	44.4	-60.0	10.0

【旅館】

秋～年末にかけてGoToトラベルでの活況から一転、第3波の広がりに伴いキャンセル多発。例年の2割程度の宿泊者数に留まる。春休み時期は例年の4～6割程度まで回復の兆しが見えるも、未だ団体旅行の回復は見られず、コロナ対策を万全に行い、お越しいただけるお客様に感謝して営業してきた。

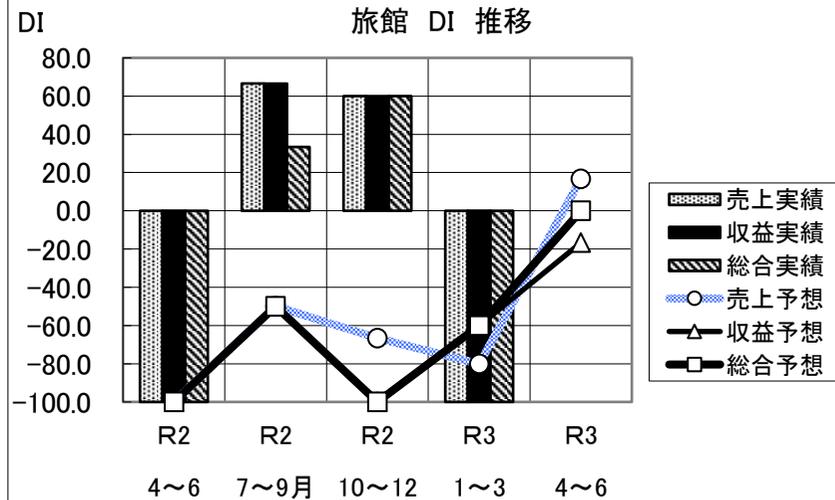
向こう3カ月の見通しまん延防止等重点措置・緊急事態宣言再発令の影響が続く、GWは施設に寄るが例年の3～7割程度の状況。ラグーナテンボスのイベント等も活用をしたい。秋以降に修学旅行やバス旅行の動きが見られるも、感染拡大状況を注視。(観光部会)

(旅館)

(DI 単位: %)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-83.3	-100.0	16.7
②製品・商品在庫	-33.3	-33.3	-33.3
③資金繰り	-66.6	-83.3	-50.0
④採算(収益)	-83.3	-100.0	-16.7
⑤従業員数(含む臨時・パート)	-50.0	-33.3	0.0
⑥貴社の業況(総合判断)	-83.3	-100.0	0.0

旅館 DI 推移



<業況判断DIの推移>

	4～6月	7～9月	10～12月	R3.1～3月	4～6月
売上	-100.0	66.6	60.0	-100.0	16.7
収益	-100.0	66.6	60.0	-100.0	-16.7
総合	-100.0	33.4	60.0	-100.0	0.0

運輸通信業

売上DI値は△ 25.0、前期実績(10～12月期 40.0)に比して△ 65.0ポイントの下降、収益DI値は△ 25.0、前期実績(10～12月期 0.0)に比して△ 25.0ポイントの下降、総合判断DI値は△ 25.0、前期実績(10～12月期 0.0)に比して△ 25.0ポイントの横バイとなった。

向こう3カ月の見通し 経済活動の正常化が遅れており、売上は横バイも収益・総合では水面下の慎重な見通しとなっている。

運輸通信業

(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	-25.0	-25.0	0.0
②製品・商品在庫	-12.5	-12.5	-12.5
③資金繰り	-12.5	-12.5	-12.5
④採算(収益)	-12.5	-25.0	-50.0
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	-12.5	-12.5
⑥貴社の業況(総合判断)	-25.0	-25.0	-25.0

[貨物輸送・水運]

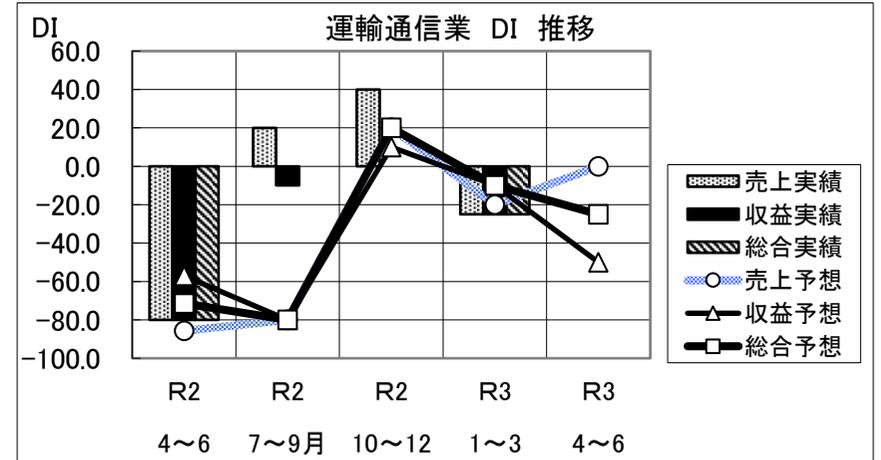
完成車輸出は北米向けが増加。海上コンテナ貨物は中国向け中心に好調を維持。鋼材移入は月間1万tを割り込む状況が続く。向こう3カ月の見通し 完成車輸出は北米向け・新型車による輸出増を見込む。海上コンテナ貨物輸出は中国向け堅調。鋼材移入は引き続き月間1万tを割り込む見込み。

(運輸交通港湾部会)

(旅客・貨物輸送・水運)

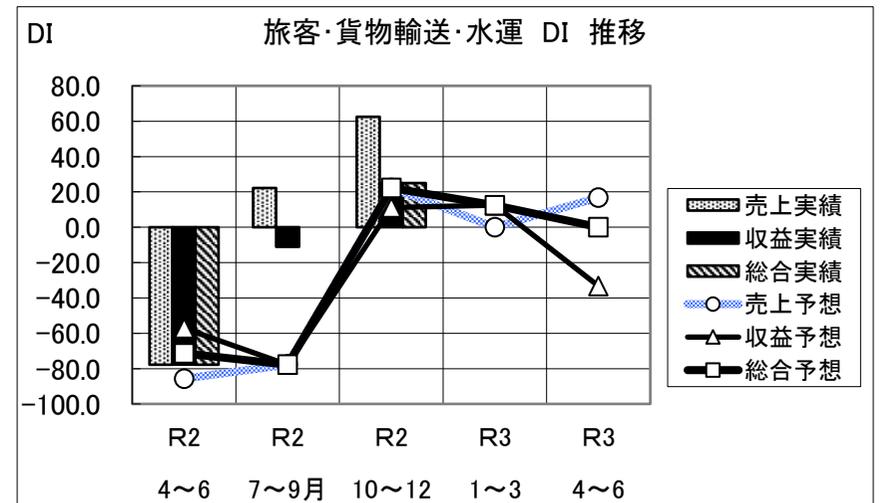
(DI 単位:%)

	前年同期比 令和2年1月～3月 に比べて	前期比 令和2年10月～12月 に比べて	来期見通し 令和3年4月～6月 の見通し
①生産額・売上額	0.0	0.0	16.7
②製品・商品在庫	0.0	0.0	0.0
③資金繰り	-16.7	-16.7	-16.7
④採算(収益)	16.6	0.0	-33.3
⑤従業員数(含む臨時・パート)	0.0	0.0	-16.7
⑥貴社の業況(総合判断)	0.0	0.0	0.0



<業況判断DIの推移>

	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月
売上	-80.0	20.0	40.0	-25.0	0.0
収益	-80.0	-10.0	0.0	-25.0	-50.0
総合	-80.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0

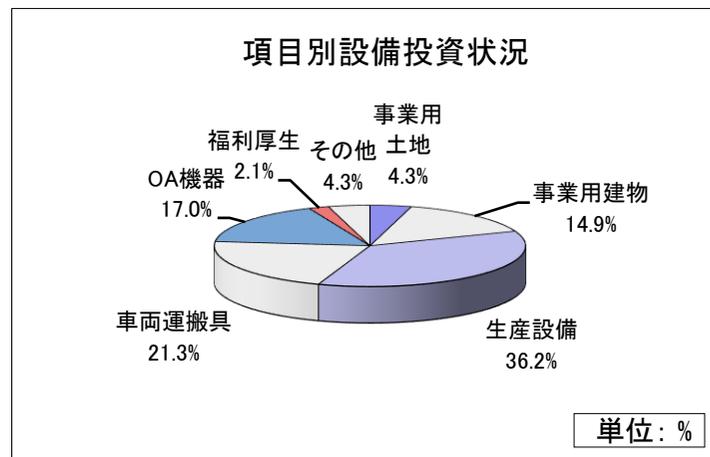
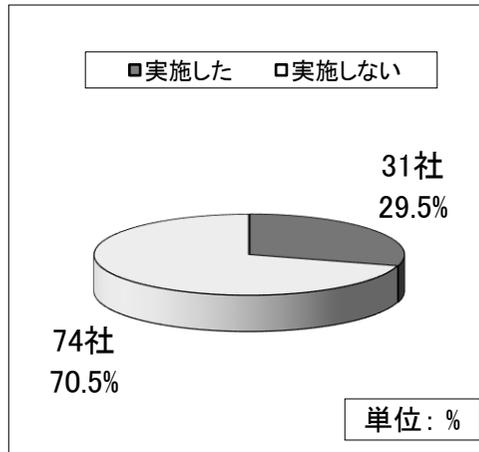


<業況判断DIの推移>

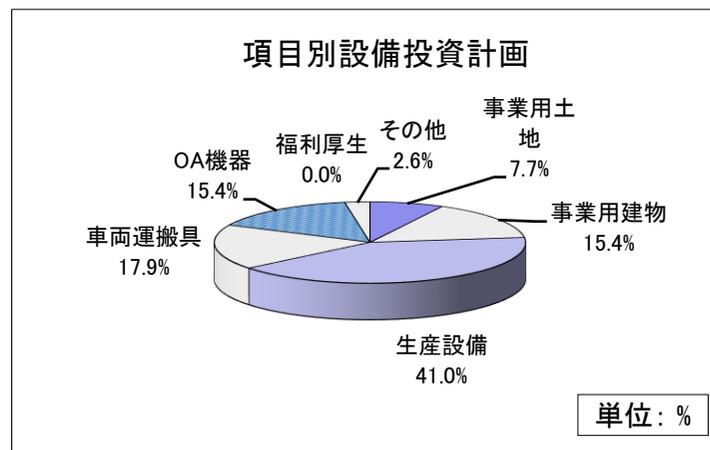
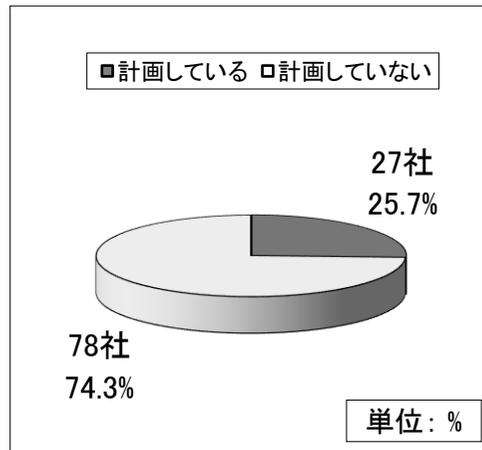
	4~6月	7~9月	10~12月	R3.1~3月	4~6月
売上	-77.8	22.2	62.5	0.0	16.7
収益	-77.8	-11.1	25.0	0.0	-33.3
総合	-77.8	0.0	25.0	0.0	0.0

7. 設備投資動向

＜今期(R3.1～3月)設備投資実施状況 全業種＞



＜来期(R3.4月～6月)設備計画 全業種＞



◎設備投資・計画内容(全業種)

	今 期	来期見通し
事業用土地	2	3
事業用建物	7	6
生産設備	17	16
車両運搬具	10	7
OA機器	8	6
福利厚生	1	0
その他	2	1
計	47	39

(単位:件)

◎今期(R3.1～3月)、来期(R3.4～6月)設備投資実施、計画動向

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	運輸通信業
1. 今期 (R3.1～3月)	31	17	4	4	1	2	3
2. 来期 (R3.4～6月)	27	19	2	2	1	0	3

(単位:事業所)

8. 経営上の問題点

項目別経営上の問題点(全業種)

(上位5項目 回答企業数 104 社)

	項目	件数 %
1	売上の停滞・減少	77 74.0%
2	利幅の縮小	46 44.2%
3	競争激化	29 27.9%
4	原材料(燃料)高	28 26.9%
5	工場機械店舗の狭小・老朽化	19 18.3%

(複数回答の為、総数と一致しません。)

業種別経営上の問題点

(上位3項目)

	1 位	2 位	3 位
製造業	売上の停滞・減少 50 社	利幅の縮小 22 社	原材料(燃料)高 17 社
	32 社 64.0%	44.0%	34.0%
建設業	売上の停滞・減少 9 社	競争激化 4 社	利幅の縮小 3 社
	5 社 55.6%	44.4%	33.3%
卸売業	売上の停滞・減少 12 社	原材料(燃料)高 5 社	利幅の縮小 4 社
	10 社 83.3%	41.7%	33.3%
小売業	売上の停滞・減少 15 社	利幅の縮小 8 社	競争激化 5 社
	13 社 86.7%	53.3%	33.3%
サービス業	売上の停滞・減少 10 社	競争激化 7 社	利幅の縮小 4 社
	10 社 100.0%	70.0%	40.0%
運輸通信業	売上の停滞・減少 8 社	利幅の縮小 5 社	競争激化 2 社
	7 社 87.5%	62.5%	25.0%

(複数回答の為、総数と一致しません。)

付帯調査(地域データ)

No.90

番号	調査項目	単位	R03.02報告	基準日	R03.02報告	基準日	R02.11報告	基準日	R02.07報告	基準日	出典
1	人口	人	79,558	R3.4.1	79,684	R2.12.1	79,762	R2.10.1	79,968	R2.7.1	蒲郡市市民課 住民基本台帳
	(うち外国人)		3,229		3,236		3,228		3,230		
2	世帯数	世帯	33,045	R3.4.1	32,979	R2.12.1	32,953	R2.10.1	32,962	R2.7.1	"
	(うち外国人)		1,513		1,592		1,603		1,642		
3	15才～65才生産人口	人	47,518	R3.4.1	47,562	R2.12.1	46,681	R2.10.1			"
	(うち外国人)		2,669		2,663		2,660				
4	全国完全失業率	%	2.8	R3.1～3月	2.9	R2.10～12月	3.0	R2.7～9月	2.8	R2.4～6月	総務省 「労働力調査」
	愛知県完全失業率	%			2.9	R2.10～12月	3.0	R2.7～9月	2.3	R2.4～6月	愛知県 「労働力調査地方集計結果」
5	全国有効求人倍率	倍	1.09	R03.2月	1.06	R02.12月	1.03	R2.9月	1.45	R2.4月	厚生労働省 「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」
	蒲郡管内有効求人倍率	倍	0.82	R03.2月	0.63	R02.11月	0.76	R2.8月	0.34	R2.4月	豊川公共職業安定所蒲郡出張所 業務月報より

全国データ

	労働			設備投資・住宅投資		GDP・景気動向指数		消費	
	完全失業者数 (万人)	完全失業率 (季調・%)	有効求人倍率 (季調・倍)	機械受注 <small>(船舶を除く前年同月比%)</small>	新設住宅着工 (戸数)	名目国内総生産 (兆円)	実質成長率 <small>実質季節調整系列(前期比)</small>	消費支出 <small>前年同月比%(実質)</small>	新車販売台数(登録車) (万台)
1996年度	225	3.3	0.72	11.4	1,630,378	528.8	2.9	1.0	-
1997年度	236	3.5	0.69	▲ 3.9	1,341,347	533.4	0.0	▲ 0.2	-
1998年度	294	4.3	0.50	▲ 18.6	1,179,536	526.0	▲ 0.9	▲ 0.8	-
1999年度	320	4.7	0.49	0.6	1,226,207	521.9	0.7	▲ 1.8	-
2000年度	320	4.7	0.59	16.6	1,213,157	528.4	2.5	▲ 1.2	-
2001年度	340	5.0	0.59	▲ 12.6	1,173,170	519.2	0.7	▲ 1.7	46946.0
2002年度	359	5.4	0.54	▲ 3.7	1,145,553	514.9	0.9	▲ 0.1	2,712.0
2003年度	350	5.3	0.64	8.2	1,173,649	517.7	2.0	▲ 1.0	588.7
2004年度	313	4.7	0.83	6.5	1,193,038	521.3	1.7	▲ 0.4	582.1
2005年度	294	4.4	0.95	5.6	1,249,366	525.6	1.0	▲ 0.4	586.2
2006年度	275	4.1	1.06	5.0	1,285,246	529.0	1.4	▲ 2.2	561.9
2007年度	257	3.9	1.04	2.3	1,035,598	530.9	1.2	0.9	532.0
2008年度	265	4.0	0.88	▲ 16.6	1,039,214	509.5	▲ 3.4	▲ 1.9	470.1
2009年度	336	5.1	0.47	▲ 15.4	775,277	492.0	▲ 2.2	▲ 0.2	488.0
2010年度	334	5.1	0.52	19.4	819,020	499.4	3.3	▲ 0.3	460.1
2011年度	284	4.5	0.65	4.2	841,246	494.0	0.5	▲ 2.2	475.3
2012年度	285	4.3	0.80	▲ 7.1	893,002	494.4	0.8	1.1	521.0
2013年度	265	4.0	0.93	10.6	897,254	507.3	2.6	1.0	569.2
2014年度	236	3.6	1.09	8.0	880,470	518.2	▲ 0.4	▲ 2.9	529.7
2015年度	222	3.4	1.23	▲ 1.2	920,537	532.9	1.3	▲ 2.3	493.8
2016年1月	215	3.2	1.28	▲ 11.3	67,815			▲ 3.1	23.7
(平成28年)2月	217	3.3	1.28	▲ 6.7	72,831	135.8	0.5	▲ 1.2	27.5
3月	214	3.2	1.30	9.8	75,744			▲ 5.3	40.4
4月	214	3.2	1.34	▲ 1.1	82,398			▲ 0.4	21.2
5月	212	3.2	1.36	▲ 7.3	78,728	134.2	0.1	▲ 1.1	22.3
6月	208	3.2	1.37	1.3	85,953			▲ 2.2	28.7
7月	201	3.1	1.37	▲ 4.2	85,208			▲ 0.5	28.1
8月	208	3.1	1.37	0.2	82,242	132.6	0.2	▲ 4.6	22.3
9月	202	3.0	1.38	▲ 4.5	85,622			▲ 2.1	31.7
10月	198	3.0	1.40	▲ 10.9	87,707			▲ 0.4	24.2
11月	200	3.1	1.41	24.5	85,051	141.6	0.3	▲ 1.5	27.3
12月	202	3.1	1.43	17.3	78,406			▲ 0.3	26.4
2017年1月	202	3.0	1.43	10.7	76,491			▲ 1.2	25.8
(平成29年)2月	192	2.8	1.43	▲ 0.7	70,912	136.2	0.7	▲ 3.8	31.2
3月	187	2.8	1.45	▲ 12.5	75,887			▲ 1.3	46.0
4月	187	2.8	1.48	▲ 0.2	83,979			▲ 1.4	22.4
5月	206	3.1	1.49	8.6	78,481	136.0	0.3	▲ 0.1	23.7
6月	190	2.8	1.51	3.4	87,456			▲ 2.3	31.5
7月	189	2.9	1.52	10.5	83,234			▲ 0.2	27.8
8月	185	2.8	1.52	19.7	80,562	135.7	0.8	▲ 0.6	23.3
9月	188	2.8	1.52	7.6	83,128			▲ 0.3	31.8
10月	184	2.8	1.55	12.3	83,057			0.0	23.1
11月	180	2.7	1.56	5.8	84,703	145/0	0.4	▲ 1.7	25.8
12月	181	2.8	1.59	▲ 6.6	76,751			▲ 0.1	26.2
2018年1月	164	2.4	1.59	8.7	66,358			▲ 2.0	24.3
(平成30年)2月	170	2.5	1.58	7.8	69,071	138.8	0.0	▲ 0.1	29.6
3月	172	2.5	1.59	▲ 2.8	69,616			▲ 0.2	43.8
4月	172	2.5	1.59	11.4	84,226			▲ 1.3	22.5
5月	155	2.2	1.60	15.3	79,539	137.8	0/0	▲ 3.9	23.6
6月	167	2.4	1.62	▲ 4.2	81,275			▲ 1.2	29.2
7月	170	2.4	1.63	11.3	82,615			0.1	28.1
8月	166	2.4	1.63	4.9	81,860	135.1	▲ 0.7	▲ 2.8	23.3
9月	161	2.3	1.64	▲ 5.4	81,903			▲ 1.6	30.8
10月	166	2.4	1.62	6.1	83,330			▲ 0.3	26.1
11月	169	2.5	1.63	4.0	84,213	144.3	0.5	▲ 0.6	27.9
12月	164	2.4	1.63	▲ 4.0	78,364			0.1	25.0
2019年1月	172	2.5	1.63	▲ 8.5	67,087			▲ 2.0	24.9
(平成31年)2月	160	2.3	1.63	▲ 3.7	71,966	139.5	0.6	▲ 1.7	30.0
3月	174	2.5	1.62	▲ 0.2	76,558			▲ 2.1	41.7
4月	168	2.4	1.63	▲ 6.0	79,389			▲ 1.3	23.0
(令和元年)5月	162	2.4	1.62	▲ 10.1	72,581	139.2	0.1	▲ 4.0	24.7
6月	161	2.3	1.61	0.9	81,541			▲ 2.7	29.0
7月	154	2.2	1.59	▲ 10.6	79,232			0.8	30.0
8月	154	2.2	1.59	0.9	76,034	137.6	0.2	▲ 1.0	24.2
9月	167	2.4	1.58	▲ 6.4	77,915			▲ 9.5	34.7
10月	166	2.2	1.58	▲ 8.8	77,123			▲ 5.1	19.2
11月	151	2.2	1.57	▲ 15.2	73,523	144.8	▲ 1.8	▲ 2.0	23.8
12月	145	2.2	1.57	▲ 7.9	72,174			▲ 4.8	22.6
2020年1月	159	2.3	1.49	▲ 0.8	60,341			▲ 3.9	22.1
(令和2年)2月	159	2.4	1.45	▲ 7.7	63,105	137.9	▲ 0.6	▲ 0.3	26.8
3月	176	2.5	1.39	0.1	70,729			▲ 6.0	37.4
4月	189	2.6	1.32	▲ 10.1	69,162			▲ 11.1	17.2
5月	198	2.9	1.20	▲ 20.9	63,839	126.6	▲ 8.3	▲ 16.2	14.7
6月	195	2.8	1.11	▲ 22.4	71,101			▲ 1.2	21.4
7月	197	2.9	1.08	▲ 17.9	70,244			▲ 7.6	23.9
8月	206	3.0	1.04	▲ 17.0	69,101	131.2	5.3	▲ 6.9	19.7
9月	210	3.0	1.03	▲ 1.5	70,186			▲ 10.2	29.3
10月	215	3.1	1.04	▲ 1.2	70,685			▲ 1.9	25.3
11月	195	2.9	1.06	▲ 1.3	70,798	143.2	2.8	▲ 1.1	25.3
12月	194	2.9	1.06	18.7	65,643			▲ 0.6	24.3
2021年1月	197	2.9	1.10	▲ 1.0	58,448			▲ 6.1	23.6
(令和3年)2月	194	2.9	1.09	39.8	60,764			▲ 6.8	26.2
3月			1.10		71,787				38.4

(内閣府)

(国土交通省)

(内閣府)

(総務省)

(自販連統計)